プロジェクト　四半期報告書制度の見直しへの対応

項目　第 557 回企業会計基準委員会で聞かれた意見

I. 本資料の目的

1. 本資料は、第 557 回企業会計基準委員会（2025 年 9 月 18 日開催）で議論された事務局の分析及び提案について、聞かれた意見をまとめたものである。

II. 事務局の分析及び提案について聞かれた意見

（適用指針の文案に関するコメント）

2. 期中財務諸表に関する会計基準の適用指針の文案について、第 69 項の見出しの「開示」と「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適切に判断するために重要なその他の事項」の間に「注記事項」との見出しの追加が必要ではないか。

（補足文書の文案に関するコメント）

3. 補足文書を公表する事務局の提案に賛成する。また、項番号のみを記載する補足文書の記載方法について、現状の記載方法でも内容が把握可能であると考える。ただし、別紙の記載について、第二種中間財務諸表に関する項目や「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」の記載がないと思われるため、記載することを検討いただきたい。

（適用時期に関するコメント）

4. 2026 年 4 月 1 日以降開始する年度の最初の期中会計期間から適用する事務局の提案に賛成する。

（公開草案を再度公表する必要性の有無に関するコメント）

5. 公開草案からの変更点はいずれも明確化又は現行の実務を踏まえた追加にとどまると考えられるため、公開草案を再度公表する必要性はないとする事務局の提案に賛成する。

以　上